

第16号

本小の教育「授業改善研」

3年国語

◎本小授業改善「主体的・対話的な深い学び」

今回は、3学年の「互見授業」であるが、初任者授業へ向けての検証も含まれている。初任者授業も学年会全員で「共有」していただいている事に対して感謝したい。この教材である「スーザン・バーレイ『忘れられないおくりもの』」は、小学校3年生の教科書に長年掲載されてきた。又、絵本として出版され、子供から大人まで幅広く愛されている作品である。「あらいぐま」の『死』を通して、子供達が「小グループ」で どの様な『交流』を深めていくのか楽しみである。又、3学年スタッフの教材研究にも感謝いたします。

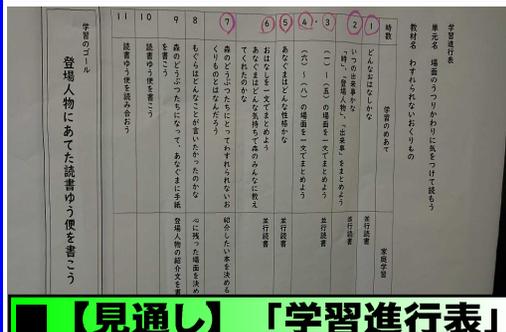


■ 3年 3組 (国語) 「山城 江里花」先生 1校時目

【児童の手 (学習規律)】



【教室の色 (支持的風土)】



【教師の目 (教師の姿勢)】



【児童観】

- 子供達は、身近に「死」を感じたり、体験した事があるのだろうか？ (実態は?)
- 子供達の親世代は、30~40才前、祖父母でも60代、曾祖父母80代位かな?
- 核家族のアパート暮らしでは、ペットを飼った経験、犬・猫の死に直面した事は?
- 子供の「理解力」「語彙力」「注意力」など「読解力」等にも個人差がありそうである。
- 小集団での「話し合い」を行う事によって、発言のハードルを下げ、内言を外言化する。
- 言語活動としては、グループの話し合いを通して読みを深め、クラス全体で話し合いながら「物語の謎」を解いていく活動が必要である。(進行表では、見えなかった)
- 4つのエピソードが「既習事項」や、ヒントとして掲示があった方が理解に繋がった?
- ノートを活用して、既習事項を確かめても良かったかなと感じた。
- 読みを深める為には、話し合いが不可欠である。「言葉」の中に秘められた「仕掛け」を全体で解き明かしていき、「たからもの」から「のこして〜」、「おくりもの」への変化を考え、「ありがとう」へ繋げると良い。

【教材観】

- 登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読む。
- 物語の流れやエピソードの構成から、登場人物の性格や思い、考え等を読み取る。
- 作品に「仕掛け」があることに気づき、作品のおもしろさを味わうことができる。
- 「時空」の変化を捉えさせる事が大切。「時間」⇒ 秋、冬、春、夏、一年中通し、子供の頃から大人になるまで、「空間 (環境)」⇒ 土の中、水の中、地上
- 4つのエピソードに注目
- 【モグラ】⇒ もぐらのくさりの切り絵
- 【カエル】⇒ スケート遊び
- 【キツネ】⇒ ネクタイの結び方
- 【ウサギ】⇒ 料理 (しょうがパン) 作り
- 「くさり」は毎日しない⇒「スケート遊び」は冬場だけ、「ネクタイ」と「料理」は、毎日するものである。「時空」の流れ
- きつねの「悲しい知らせ」、冬にモグラが悲しみ、更にお礼を云う。つまり、あなぐまの死を乗り越えていく森の仲間達の再生の物語である。
- 心温まる物語、他のシリーズも薦めよう。

【指導観】

- スーザン・バーレイのこの作品は、教育出版の教科書に長年 (20年前?) 掲載の作品。
- 全国図書館協議会の選定する読書感想文コンクール課題図書 (低学年区分) でもある。
- 「よい絵本」リストにも掲載され、教育現場では好評価の作品でもある。
- 私 (校長) も、大好きである、と云うよりは、「長トンネルの向こう」には、涙が止まらない。
- 「範読」を聞かせ、挿絵、あらすじ、登場人物などから「初発の感想文」を書かせる。
- 「クライマックス」はどこ? ⇒「あなぐまの死」⇒「たからもの」⇒「残してくれたもの」⇒「おくりもの」。気づかせる事が大切。
- なぜ、「4つのエピソード」で悲しみが消えていった? 動物達の周りには、何時でも、何処にでも、誰にでも、思い出がある事を共有する。
- 【深い学び】の鍵として「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」、4つの視点で、多様な考えを受け入れ、学び合う事が大切だ。
- 「ありがとう。あなぐまさん。僕はもう悲しまないよ。だって、僕達の周り全てに、あなぐまさんが居る (存在する) から。いっぱい楽しい思い出や知恵や豊かさを有難うございます。」



【感想】 「あなぐま」の「長いトンネルの向こうへ行くよ...」。 その「言葉」に、涙が止まらない!!

- 「『夢』⇒走ってる。つえもいらぬ。素早く動く。地面から浮き上がった。体が無くなった。」<涙>
- 「死期を悟った上で、森の仲間達に悲しみを乗り越え再生を願っての行動を取れる事に敬意を表す。」
- 「死んで体がなくなっても、心は残ることを知っている、あなぐま。長いトンネルの向こうへ行く決心が」
- 「子供の囁きに『お母さんみたい...』。この森の『お母さんの存在』なのかなと、つくづく感じた瞬間。」
- 「自分には、とても『あなぐま』の様な覚悟は未だ未だ無い。『不思議な素晴らしい夢』が見られるかな。」
- 「物語、深く読んで、思いや考えを『交流させて』欲しいです。心温まる物語で、心を育んでくださいね」

